

津大豆ニュース

～平成28年産第2報～



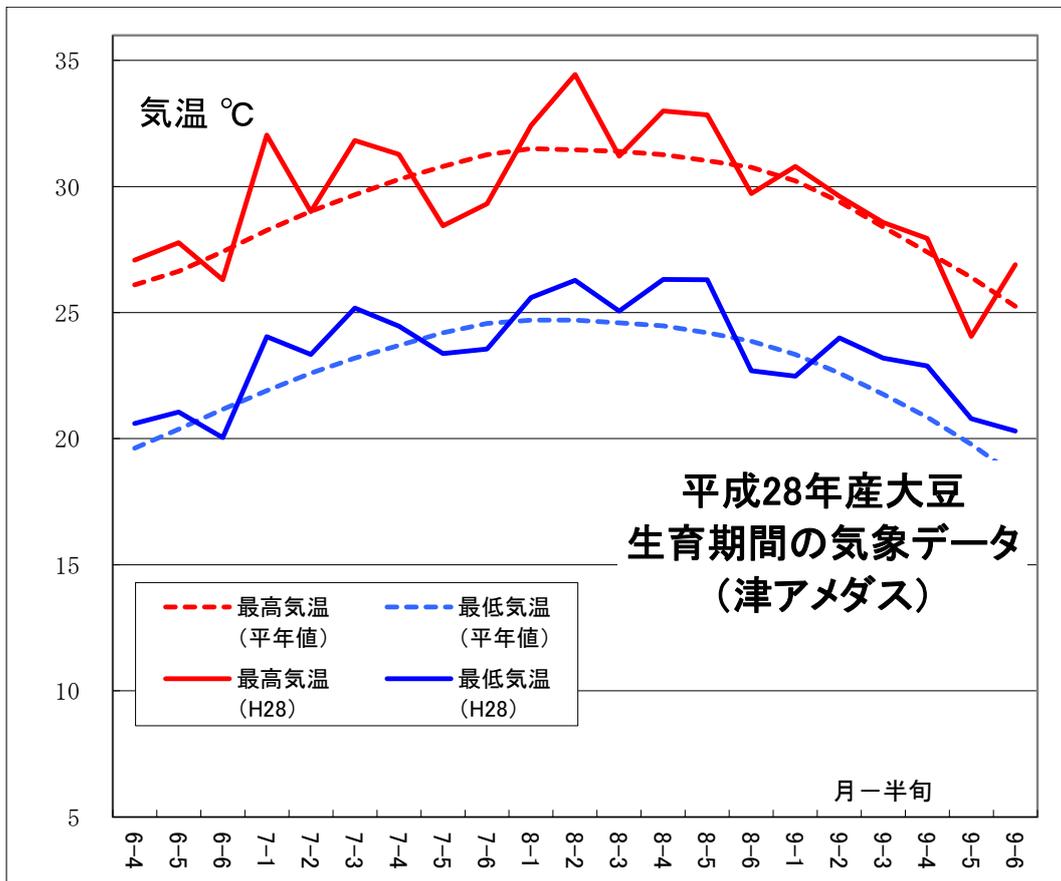
平成28年9月27日

津地域農業改良普及センター TEL : 059-223-5103

気象経過

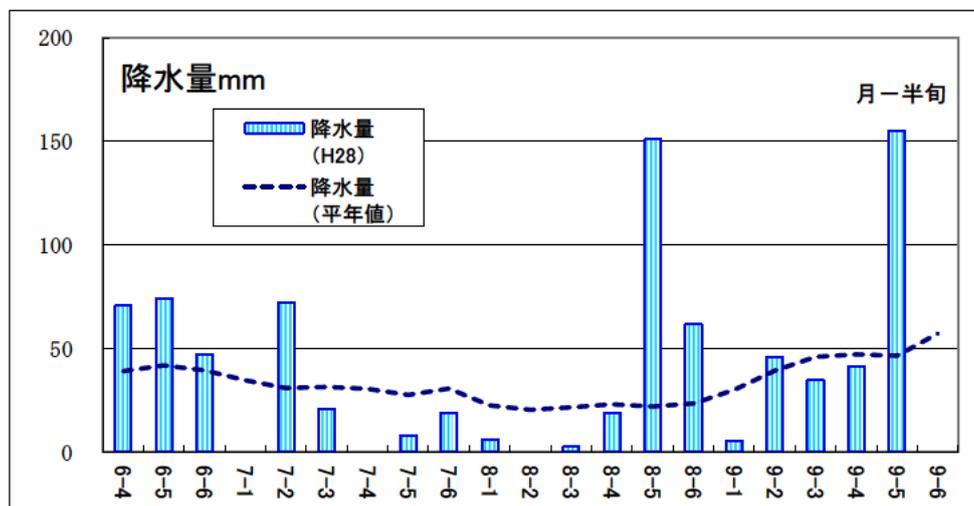
気温

6月以降高温傾向と低温傾向を繰り返していましたが、9月に入ってから平年並みとなっています。9月以降、最低気温が高い傾向にあります。



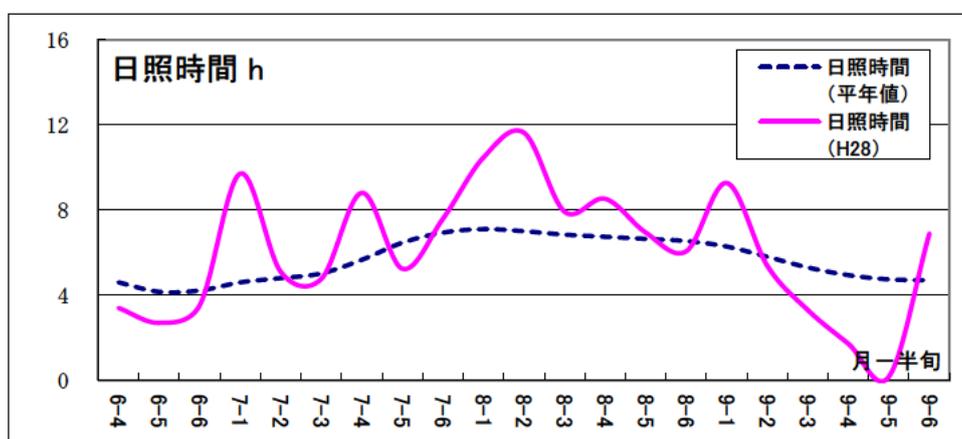
降水量

7月中旬から8月中旬にかけて少雨となりましたが、8月下旬以降降雨が多く、8月下旬から9月下旬にかけての降水量は平年比約180%となりました。



日照時間

7月から8月中旬までは晴天の日が多かったことから平年を上回りました。8月下旬以降は、雨の日が多かった影響で、平年を下回りました（8月下旬から9月下旬：平年比約80%）。



生育状況

生育状況

8月中旬まで少雨となり、干害が心配されましたが、8月下旬以降の雨により、干害被害はほとんどみられませんでした。しかし、8月下旬以降、降水量が多いため、水はけの悪いほ場を中心に湿害がみられています。また、9月21日の台風16号による倒伏被害はほとんどありませんでした。

生育初期に晴天が続いたため、管内の生育は非常に順調です。

○生育基準ほの生育調査結果

【平成28年9月27日現在】

品種	調査地点	栽培様式	播種日	草丈 (cm)	分枝数 (本)	主茎葉数 (L)	SPAD
フクユタカ	一志町	中耕培土	7月4日	98	4	11	47.8
	芸濃町	狭畦	7月30日	82	1	9	50.8

雑草発生状況

帰化アサガオ類、ホオズキ類、ホソアオゲイトウ等が蔓延しているほ場が散見されます。今後の生育および収穫時に悪影響となりますので、早めに手で抜くなどの防除が必要です。

病虫害発生状況

8月下旬以降の大雨により、ハスモンヨトウの発生はほとんどみられませんでした。一方、稲刈り後、カメムシ類がダイズに移っています。特に、ミナミアオカメムシの発生が目立っています。収量・品質向上のため、早めに防除を行いましょう。

今後の管理

雑草管理

帰化アサガオ類、ホオズキ類、ホソアオゲイトウ等の強害雑草の発生が増加しています。これらの強害雑草は、収穫作業に影響を及ぼすとともに、汚粒や異物混入の発生の原因となり、品質が低下しますので、出来るだけ手で抜いてから収穫を行うようにしまししょう。

病虫害対策

ミナミアオカメムシ等の吸汁性カメムシ類の発生が増加しています。吸汁性カメムシ類は大豆の子実を吸汁し、奇形粒の発生や不稔等の原因となります。被害は、適期に薬剤散布による防除を行うことで抑えられます（9月中旬と10月上旬の2回防除を行うと効果的です）。

収穫

子実水分18%以下、茎水分50%以下となったときが収穫適期となります。早刈りは乾燥に時間がかかり、汚粒の発生が多くなります。また、刈遅れると収穫時のロスが増えるとともに裂莢しやすくなり、収量・品質低下の原因となりますので、適期に収穫しましょう。収穫作業は、朝露が乾く、午前9時頃～午後4時頃までとしましょう。

生育予測

○大豆生育予測

【平成28年9月25日現在】

品種	播種日	開花期（平年との差）	成熟期（平年との差）
フクユタカ	7月1日	8月19日（0.1日早い）	11月6日（0.3日遅い）
	7月15日	8月27日（0.2日遅い）	11月11日（0.1日遅い）
	7月30日	9月6日（0.4日早い）	11月18日（0.7日早い）

※三重県農業研究所作成の生育予測システムVer9.2による予測です。

気象庁アメダス津観測地点データ(直近10ヶ年の平均気温)を使用しています。